

## 飯田市営駐車場の使用料改定の試行の実施について

危機管理室

### 1 市営駐車場の現状と試行の目的

駐車場経営面では、経常損益では黒字を計上しているものの、利用者の約6割が1時間未満、約2割が2時間未満であり、イベント事業等が開催時以外の稼働率は高くない状況にある。

一方、第3期飯田市中心市街地活性化基本計画策定の市民アンケートの中では、中心市街地において充実させるべき施設は「大型の無料駐車場」が5割以上、改善点としては「公共駐車場の整備」が6割を占めている。

これらのことから、無料時間の延長が駐車場の稼働率やまちなかへどのような影響をもたらすかを検証するため試行する。

### 2 市営駐車場の基本的な考え方

- ・市営駐車場事業の運営の安定化
- ・中心市街地が「歩く人中心の賑わいのあるまち」となるための一助とする。
- ・まちなかの回遊を促進するため、誰もが滞留しやすい環境を整える。
- ・空き地が駐車場化することなく、高度利用されるまちにするため、利用しやすい市営駐車場の仕組みを整える。

### 3 使用料改定試行の概要

#### (1) 対象駐車場

中央駐車場 100台、飯田駅駐車場 72台、本町駐車場 82台、扇町駐車場 36台  
合計 290台

#### (2) 使用料体系

- ・現行の1時間無料を2時間無料に

駐車する時間が120分以下の場合には無料とし、当該120分を経過したときから起算して30分を経過するときまでごとに100円とする

- ・1日最大上限額の設定

駐車した時刻から24時間までごとに上限額2,000円とする

※試行期間中は、規約上は減免扱いとする。

#### (3) 試行期間

令和4年3月23日（水）0時から令和4年9月30日（金）出庫分まで

#### 4 使用料改定試行による効果の検証方法

(1) 駐車場ごとの利用時間、利用時間帯のデータ分析による検証

試行前後の駐車場ごとの利用時間、利用時間帯の利用データの比較により、滞留時間の延長の効果を図る。

(2) 駐車場利用者アンケート、事業者アンケートの実施

駐車場利用者、事業者に無料時間延長による滞留、回遊状況アンケートの実施

(3) 主要施設（動物園、川本人形美術館等）でのアンケートの実施（行動動向調査）

主要施設利用者に対する、駐車場利用状況アンケートの実施

#### 5 施行後の事業の方向性

検証結果をもとに、下記事項等について整理する。

- ・試行した方向性での実施の適否
- ・それぞれの駐車場の利用特性による料金の見直しの必要性
- ・まちなかインフォメーションセンター等でのサービス券配布（まちなか回遊促進策の検討）など

#### 6 試行期間中の収入減見通し（参考：3年度予算額 38,094 千円）

影響額については経営に影響のないよう収益の中で対応する。

（2時間無料影響額） 8,145 千円

（上限額設定影響額） 3,856 千円

合計 12,001 千円

#### 7 使用料改定に向けてのスケジュール

令和4年3月 試行開始に向けた設備改修、広報

6月 市議会全員協議会において中間報告

9月 試行結果の検証